

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（販売企画担当）	・夏の商戦期となり、新商品の販売等もあり、市場が活性化される。	
		百貨店（販売促進担当）	・春物を買って控えた客が、夏物を多く買ってくれるのではないかと期待している。ただし企業の収益向上が、客の実入りとなつてこないとなれば本格的な景気回復には結び付かない。	
	やや良くなる	スーパー（店長）	・1点単価については減少しているが、客単価は買上点数の増加により増加傾向であり、低単価商品の訴求方法次第では昨年を上回る売上を期待できる。	
		コンビニ（エリア担当）	・観光地等の人が集まる場所では、平日でも人出が多い。	
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・暖冬の流れて、今年は夏の猛暑が期待できる。夏物衣料の売上は増加する。	
		家電量販店（店長）	・今年の夏は猛暑ということなので、エアコンのウェイトが大きい業界としては売上が増加する。	
		家電量販店（予算担当）	・昨年に比べ、気温が高い水準で推移しているため、エアコンなど季節商材に追い風が期待できること、好調な企業業績を背景に夏のボーナス商戦に期待が持てること、求人倍率の上昇などによる消費活性化が予想されることなどにより売上は増加する。	
		乗用車販売店（サービス担当）	・ここにきて、少し客の動きが良くなってきたように思われる。モータースからの引き合いも、少しではあるが増えてきた。	
		一般レストラン（店長）	・一般企業のボーナスも期待できそうであるし、予約状況も夏に向けて伸びているので、多少なりとも回復する。	
		その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・景気よりも社内の問題が大きいと思うが、スナックタイムの商品導入により、来客数が伸びる。	
		観光型ホテル（経理総務担当）	・現段階で、7～8月の予約は前年を下回っているものの、手ごたえは感じているので、夏休みに入ってから家族連れに大いに期待できる。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊では夏休みの予約が順調で、例年より早く申込が入ってきている。	
		ゴルフ場（営業担当）	・既に、7月の事前予約数は前年比で上回っている。この傾向は4月に入ってから見受けられるようになった。	
		変わらない	商店街（代表者）	・若いオーナーの店では、独自の固定客を持って頑張っているところもあるが、商店街全体の中のほんの一部である。入れ替わりもない現状では、良くなっていく要素がない。
			商店街（代表者）	・オーバーストア・少子化・デフレ、この三重苦はずっと続き、明るい兆しはない。ただし、「まちづくり三法」が施行される2年後くらいから、オーバーストアだけは少し解消される。
			一般小売店〔茶〕（経営者）	・新しい方向性を模索しているが、全く予想ができない。不安だ。
			一般小売店〔印章〕（営業担当）	・新たな会社設立などの動きが少ない。
			百貨店（営業担当）	・この夏は天候の不順が予想され、また大きなトレンドアイテムがない。夏物はバーゲンに突入しても、今年は6月30日が土曜日となり、7月1日（日曜日）の売上が前年並みに期待できない。
			百貨店（営業担当）	・過去の気象観測を覆す天候不順もあり、衣料品が苦戦を続けている。現在の景気下降線傾向は、しばらくの間、続くと思われる。夏のボーナス商戦で巻き返せるかが大きなポイントといえる。
百貨店（電算担当）	・来客数が毎年下降しており、売上も前年比でマイナスになっており回復のめどが立たない。衣料品は前年を維持しているが、生鮮産品（魚、精肉、青果）すべて減少している。			
百貨店（売場担当）	・前半のサンダルの苦戦で大手に生産調整が入り、商材確保が難しい状況が今年も続く。			
百貨店（売場担当）	・固定客比率の比較的高い百貨店であり、数多い招待会などでも来店はあるが、購買につながらないケースが多く、今後その傾向は続く。			

百貨店（購買担当）	・今年は昨年に比べて、クリアランスの日程が1日繰り上がって6月30日から実施するところがほとんどである。春物の動きが鈍かったので、夏物の商材が品薄になるおそれがあり、客の需要に対して供給側の商材の確保が難しくなっている。また今年の夏は猛暑ということなので、秋の動きも懸念され、客の動向が厳しいものとなる。
スーパー（店長）	・ガソリンの高騰、マヨネーズの値上げなど消費を取り巻く状況が厳しくなっており、これが改善されない限り、良くはならない。
スーパー（店長）	・良い材料も悪い材料も見当たらず、同じような状況が続く。
スーパー（店長）	・今のやや良い状態が今後も続く。
スーパー（店長）	・6月から一部食料品の値上がりが始まる。また石油製品の値上がりも今後始まってくる。その分、今まで好調だった買上点数に陰りがみられるものの、単価は若干上昇し、全体的には現状と変わらずに推移する。
スーパー（総務担当）	・今年の夏は少雨で好天が続くとのことなので、飲料を始め、夏物商品に期待しているが紙製品等々の値上げ、地物魚類の不漁等もあり、良くても現状維持となる。
コンビニ（エリア担当）	・来客数の動きはこのまま変わらない。食品関係の落ち込みが気にはなるが、景気としては変わらない。
コンビニ（エリア担当）	・新規のスーパー・コンビニの出店が若干見込まれるが、パイ自体が小さくなっている。競合店の話を聞いても、どこも良くないようで、今後もこのような状態が続く。また、暑いと売上が落ちるのでそれが懸念される。
コンビニ（エリア担当）	・客の財布のひもが固い状況はまだ続く。
コンビニ（エリア担当）	・今月はゴールデンウィークの悪い動きをそのまま引きずってしまい、給料日を過ぎても戻らない。このままの状態がしばらく続く。
コンビニ（エリア担当）	・夏の賞与支給額が約100万円ということで個人消費への恩恵も考えられるが、景気低迷・雇用不安から支出に関しては大きく見込めない。
衣料品専門店（経営者）	・販売量、来客数から判断して良くなることを想像しにくい。
家電量販店（店長）	・今年の夏は暑いとの予報が出ており、エアコン、冷蔵庫等は期待できる反面、テレビ、DVDレコーダーの地上波デジタル関連商品の単価下落が大きく、苦戦が予想される。パソコンを中心としたOA関連商品も新OS需要も落ち着き、大幅な伸びが期待できない。
乗用車販売店（経営者）	・夏季賞与の支給で、若干購買意欲が高まるのではないかと期待している反面、最近の購買意欲の慎重さはあまり変化がないと思われる。景気が良いと言ってもそれはほんの一部の業種で、一般的には、街に出てもにぎわいに欠ける。
乗用車販売店（統括）	・年金等、客の将来における不安が増大し、消費へも影響している。
自動車備品販売店（経営者）	・ナビゲーション等の新製品が6月後半から導入される。これに対しては期待しているが、現状の動きにさほど変化はない。
自動車備品販売店（店長）	・今月は客単価が非常に低く、大型商品の販売量も少ないため、景気の悪さを実感している。ただし、これから新商品の発売予定があり、客の反応も良いので、売れてくるとは思うが、相変わらず低価格志向は続きそうなので、全体としては変わらない。
その他小売（営業担当）	・販売量増への好影響を与えると考えられるものが見当たらない。
一般レストラン（経営者）	・先月に引き続き、夜の来客数が少し落ち込んでいる。昼は前年比100%をクリアして順調である。競合店が出店したこともあり、この傾向はこの先半年くらい続く。
スナック（経営者）	・常連客の年齢層も高くなり、毎年毎年客が減少して段々暇になっている。
都市型ホテル（従業員）	・6月以降の宿泊予約状況から、前年並みが見込まれる。
都市型ホテル（総務担当）	・7～8月の一般宴会及び婚礼の受注件数が伸びていない。景気回復というまでには至らず、まだまだ様子見といった感がある。
タクシー運転手	・タクシー運賃値上げ申請が出されたということで、乗客離れが懸念される。

	タクシー運転手	・6月は農繁期に入り、客の夜の動きも鈍くなってくる。観光・イベント等の予約も客の増加に至るまではなく、今月とあまり変わらない。
	通信会社（企画担当）	・商品・サービス単価の変化は、今年中は可能性が無い。その意味で客の動きの変動は来年以降と思われるので、鈍化気味の傾向は続く。
	テーマパーク（財務担当）	・夏休みに入るのので、現在よりは集客数は増えるが、季節的要因を除くと、売上の増加につながるものがみられない。
	テーマパーク（広報担当）	・入園者が減少した部分を、客単価を上げる工夫で対応できる。
	テーマパーク（業務担当）	・土休日の利用が伸び悩んでいる一方、平日の利用は昨年比では増加傾向が続いており、全体的に見ればさほど変わりがなく、この傾向が続く。
	美容室（経営者）	・美容業は今変わり目であり、そのため見通しが立たない。良くなる努力はしているが、どうなるかわからない。
	設計事務所（経営者）	・仕事量が少なく低迷している状況が今後も続き、上向きにはならない。
	設計事務所（経営者）	・消費者は将来の消費税アップも大変気になる様子で、税が上がるまでには工事契約を行いたいとの思いがあり、そのことが設計契約につながる。
	住宅販売会社（販売担当）	・ゴールデンウィーク中の展示場・イベント等への来場者数が前年比1割減であったため、今後とも厳しい。現状維持がやっとである。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街の中のショップがまた少しずつ閉店をしている。上向きになる要素が見当たらない。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	・ここ3年間、今の時期に、大きな店構えのところシャッターを下ろして店が人手に渡っているのが続いている。今月末にも1件閉じる店があり、景気は良くならない。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・郊外の大型ショッピングモールへの消費者の流出や、市内の少子高齢化の現象が長期にわたり継続しており、この影響がある。
	百貨店（販売促進担当）	・郊外のショッピングセンターが、秋の大増床を前に、早くも専門店街の改装前の売り尽くしを展開してきている。今後、本体部分の売り尽くしを始めるだろうが、そうなると夏物の早くからの値崩れが懸念材料となってくる。
	百貨店（売場担当）	・参議院選挙が告示されると人の流れが少なくなる。人口が少ないために、客も親戚がらみや近所とかで、動きが少なくなり、現在より来客数・売上共に悪くなる。
	百貨店（販売担当）	・7月下旬から8月にかけて、駅地下街が改装を行う。ここにメンズ・レディース・コンバインの人気ショップの導入が見込まれ、集客の減少が懸念される。
	スーパー（店長）	・店でいろいろな企画をたてても、客は必要な物しか購入しない。また、来月には新規に競合店が出店するためその影響が出る。
	スーパー（店長）	・客単価自体は上昇しているが、これは低単価商品の売上が減少したことによるものである。このことから、この先景気が上昇するとは考えにくい。
	スーパー（管理担当）	・価格強化販促実施により、来客数前月比110%が数か月続いている。しかし、秋ごろに競合店出店予定があるため、影響を受ける店舗が3店舗でくると思われ、今までどおりの集客が困難になる。
	スーパー（財務担当）	・競合店の出店予定がまだあり、価格競争による客単価、及び利益率が低下する。
	衣料品専門店（販売促進担当）	・客は本当に必要な時に必要な物しか購入しない。全般的に客の財布のひもが固くなっており、この傾向が続く。
	乗用車販売店（店長）	・小型車の販売不振が著しく、客は安価な軽乗用車に移行しつつあり状況は改善されない。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	・夏物商品の動きがあまり良くないので、これから先の見通しが立ちにくい。
	その他専門店〔カメラ〕（店長）	・インターネットの普及で価格破壊が進み、利益が取れる商品がますますなくなってくる。
	高級レストラン（スタッフ）	・この先2～3か月は予約からみて厳しい状態が続き、秋口あたりにやっと明るい兆しが見受けられる。
	一般レストラン（店長）	・来月から生ビールフェアが始まる。今の時期ビールを安くしてどの様な結果ができるか、厳しさを予想している。
通信会社（通信事業担当）	・全体的な普及も進み、少ない新規ユーザーの取り合いが各社で行われており、今後とも状況は厳しい。	
設計事務所（経営者）	・資材等の高騰がこれからも継続する。	

		住宅販売会社（従業員）	・受注量の動きが鈍くなってきていることに加え、原材料の値上げの影響が徐々に広がってくる。
	悪くなる	一般小売店〔紙類〕（経営者）	・商売のやり方が難しくなっている。商店街と量販店の格差が出て、量販店はサービス精神がおう盛になっているので、今後は益々厳しい。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・やや落ち込んでいるクライアントの生産計画が、2～3か月後には増産計画に転じる予定なので、人材派遣の要請も増加する。
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・業界での生産量は好調を継続している。このため受注競争の厳しさはあるが受注獲得は期待できる。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・受注が向上くことが見込まれている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・携帯関連・自動車関連ともにフル生産を継続している。エアコンの受注も、昨年同様、夏場の猛暑予想と、海外向けが増加しており、生産増に対応するため人員採用募集するが、なかなか人が集まらない状況となっている。
		輸送業（統括） 通信業（支社長）	・10月以降の見通しだが、新規業務の見通しが数件ある。 ・前年比で売上並びに利益は横ばいか微増している。業種では、自動車関連企業が元気である。また、売上高50億～100億円規模の企業は、業務改善について前向きに取り組んでおり、ITへの投資が見込まれる。
		通信業（営業企画担当）	・ここ1～2か月、目立った商談には結び付いていないが、製造や流通系企業にも、ネットワークを見直す気配が感じられる。ただしIP電話の相次ぐ大規模トラブルなど、ブロードバンドサービスの未成熟さが露呈している現状では、ITの拡大ペースが急激に進展するとは考えにくい。
変わらない		化学工業（総務担当）	・物流費や原燃料費高等の影響はあるものの、当面現状を維持する。
		鉄鋼業（総務担当）	・鋼材需要は引き続き堅調で、生産もフル操業の状況が継続している。一部分野で需要減が見込まれるものの、数量規模が小さいため、全体へ与える影響は、ほとんど無い。
		鉄鋼業（総務担当）	・世界経済は、欧州・アジアは、経済の高成長を維持しているものの、米国は少しダウングレードである。また、為替は現在、輸出企業にとっては、プラスに動いているものの、円高に向かえば、厳しくなる。ここにきて、設備投資の伸びも鈍化傾向にある。
		金属製品製造業（総務担当）	・原材料の更なる値上がり懸念は残るものの、受注量は高水準のため、この先3か月はこのまま順調に推移していく。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内向けの自社製品の売上について、市場の冷え込みが当分続く。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・5月に量産開始の新製品の生産ボリュームは更に拡大すると予測していたが、予定どおりにとどまりそうである。
		建設業（経営者）	・山口県の製造業は軒並み好調である。しかしながら、これらの会社も株主や社員への還元はあっても、工事業者へは厳しいままで、これが地場の下請業者にしわ寄せされ、地域の景気が刺激されていない。最近では、仕事量もさることながら単価も厳しく、この状態はしばらく続く。
		建設業（経営企画担当）	・民間企業の新築、改築の引き合いはあるものの、発注者側の条件が厳しく受注できるかどうか判断しがたい工事が増えている。
		金融業（営業担当）	・小さな設備投資や宅地開発は出てきている。しかし宅地開発をして家が建つという話なので、効果が現れるには2～3か月ではなくもう少し長い時間が掛かる。
		会計事務所（職員）	・全般的に中小零細業者はよく健闘しているが、公共事業関連だけは不振が目立つ。
やや悪くなる		食料品製造業（総務担当）	・食品に関しては、需要と供給のバランスがうまくとれておらず、これから先の見通しも明るいものではない。
		コピーサービス業（管理担当）	・今後、印刷用紙値上げでコストアップは避けられない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（支社長）	・求人数の伸びがまだしばらく続く。
		求人情報誌製作会社（担当者）	・中途の採用イベントの問い合わせも発生している。

	職業安定所（雇用開発担当）	・景気減退を示すようなものが、現行の雇用情勢下では見られないことから、引き続き上昇傾向で推移する。ただし、一部には採用を非正規社員に限定するものも見られ、景気の先行きに多少の不安を感じる事業者もある。
	民間職業紹介機関（職員）	・生産規模拡張など、設備投資のための増員依頼が増えた。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	・取引先での商談の中でも、特に変わらないと言う業界が多い。
	人材派遣会社（営業担当）	・引き続き製造業での就業希望の登録者獲得が難しい。成長してきた1つの要因が工場でのブルーカラー就業者の増加であることから、今後登録者確保が難しくなるにつれ、必要な人員確保が困難になり、成長は鈍化する可能性がある。
	求人情報誌製作会社（支店長）	・製造業の採用意欲は高止まりの状態にある。
	職業安定所（職員）	・一向に上向かない景気の影響で、今月も製造業での事業廃止など大量離職の事例が相次いでおり、今後、求人募集の面でも都会地とのギャップが際立ってくる。
	職業安定所（職員）	・大手化学メーカーの15名の一般求人に260名を超える応募があり、優秀な人材を確保しやすい状況であるが、中小企業に至っては人材が集まらず、企業間の格差が拡大していく。
	職業安定所（職員）	・求人の提出等から見ると緩やかではあるが改善傾向に向かっていると思われるが、非正規社員の増加やパート求人の割合の増加等によるもので、今後も大きな変化はない。
	民間職業紹介機関（職員）	・システム開発の上場企業において、目の前に仕事の依頼があるのに人員不足で受注できないなどの現状がある。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・昨年に比べ、求人件数は増加傾向にある。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-